



心臓血管外科学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2019-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000761

大竹 徹. 知っていますか?乳がんのこと. 平成 29 年度福島県診療放射線技師学会大会 一般公開講演; 20171119; 福島.

〔招待講演〕

立花和之進. MD Anderson Cancer Center. エーザイ社内勉強会; 20170620; 福島.

立花和之進. 乳癌の治療選択に関して. 協和発酵キリン社内勉強会; 20170822; 福島.

野田 勝, 阿部宣子, 仲野 宏, 村上祐子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 進行・再発 luminal type 乳癌に対するフルベストラントの使用経験. 郡山 BC ワークショップ アストラゼネカ; 20170915; 郡山.

心臓血管外科学講座

論 文

〔原 著〕

Igarashi T, Yamamoto A, Fujimiya T, Takase S, Satokawa H, Yokoyama H. Inferior Mesenteric Artery Aneurysm Complicated With Occluded Celiac and Superior Mesenteric Artery After Replacement of Thoracoabdominal Aorta for Chronic Dissected Thoracoabdominal Aortic Aneurysm. *Annals of Vascular Surgery*. 201710; 44:420.e7-420.e10.

Igarashi T, Tanji M, Takahashi K, Ishida K, Sasaki S, Yokoyama H. Predictive factor of secondary tricuspid regurgitation after aortic valve replacement for aortic stenosis: the importance of myocardial hypertrophy and diastolic dysfunction. *General Thoracic and Cardiovascular Surgery*. 201705; 65(5):259-266.

山本晃裕, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 籠島彰人, 高野智弘, 藤宮 剛, 横山 斉. 術前血流評価によりリエントリー閉鎖を先行したマルファン症候群合併解離性胸部大動脈瘤の 1 例. *日本心臓血管外科学会雑誌*. 201701; 46(1):25-28.

佐戸川弘之, 横山 斉. 動脈静脈の疾患 (上) —最新の診断治療動向— V 動脈静脈疾患 (四肢体幹) 静脈瘤 (下肢を中心に) 下肢静脈瘤の病因と病態 Etiology and pathophysiology of varicose veins. *日本臨床*. 201705; 75(増刊 4):514-518.

〔症例報告〕

若松大樹, 佐戸川弘之, 黒澤博之, 横山 斉, 桃井伸緒, 青柳良倫, 遠藤起生, 林真理子. 成人期に一期的 Fontan 型手術を行った心尖下大静脈同側の 1 例. *Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery*. 201705; 33(3):249-255.

〔その他〕

佐戸川弘之 (アニュアルレポート 2011 解析担当チーム). 血管外科手術アニュアルレポート 2011 年. 日本血管外科学会雑誌. 201702; 26(1):45-64.

佐戸川弘之. 座談会 深部静脈血栓症肺血栓塞栓症を見逃さないためのポイントと最新の治療. 日本医師会雑誌. 201704; 146(1):5-16.

著 書・訳 書

横山 斉. 冠動脈バイパス術のエビデンス: なぜ冠動脈バイパス術は複雑多枝病変に対する標準術式であり続けるのか? In: 下川宏明 編集. 狭心症 (最新医学別冊 診断と治療の ABC 120). 大阪: 最新医学社; 201703. p.193-200.

佐戸川弘之. ヘパリンを選択したい患者とは. In: 池田隆徳 編著. 超実践的! 抗凝固薬の使い方. 大阪: メディカ出版; 201704. p.143-147.

横山 斉. 災害フォーラム in 福島 4. 大学病院: 避難患者の中継基地としての機能について. In: 福田幾夫 編. 病院からの全患者避難 ~災害医療フォーラム全講演~. 大阪: 医薬ジャーナル社; 201708. p.143.

研究発表等

〔研究発表〕

Yamamoto A, Yokoyama H. A case report -The availability of left ventricle assistant device for severe aortic insufficiency due to acute aortic dissection-. CCT2017; 20171027-28; Kobe.

Ishida K. Successful endovascular repair of a thoracic aortic aneurysm with severely angulated aorta by the tug of wire method. CCT2017; 20171027-28; Kobe.

高野智弘, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 山本晃裕, 新城宏治, 横山 斉. 外傷性大動脈仮性瘤に対し TEVER 留置後, 呼吸循環不全に対し集学的治療を行った 1 例. 福島心臓血管外科研究会; 20170107; 福島.

高野智弘, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 瀬戸夕輝, 横山 斉. 感染性右鎖骨下動脈瘤に対して緊急ステントグラフト内挿術を施行した 1 例. 第 26 回福島県 IVR 研究会; 20170121; 福島.

佐戸川弘之. 産業医のための静脈疾患講義：下肢静脈瘤から静脈血栓塞栓症まで. 第7回福島県産業医学研修会; 20170215; 白河.

佐藤善之. 僧帽弁弁輪縫縮術を再考する. 第4回福島心臓血管外科 Specialist Seminar; 20170218; 福島.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 当科における単心室型治成績と房室弁逆流が与える影響の検討. 第47回日本心臓血管外科学会学術総会; 20170227; 東京.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 非解離性弓部大動脈瘤に対する治療選択と成績—従来手術と TEVAR—. 第47回日本心臓血管外科学会学術総会; 20170227; 東京.

佐藤善之, 佐戸川弘之, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 僧帽弁後尖逸脱は切除か, 人工腱索再建か?—形成術式と術後僧帽弁口面積の検討—. 第47回日本心臓血管外科学会学術総会; 20170228; 東京.

若松大樹, 佐戸川弘之, 高野智弘. 深部静脈血栓症に対する DOAC 例の検討. 第2回東北静脈フォーラム; 20170311; 山形.

佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 下肢静脈瘤から慢性静脈不全症:EVLA から SEPS まで. 第45回日本血管外科学会学術総会; 20170420; 広島.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 非複雑型慢性期スタンフォードB型大動脈解離に対するステントグラフト治療の妥当性. 第45回日本血管外科学会学術総会; 20170420; 広島.

瀬戸夕輝, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 当院における胸腹部大動脈病変に対する腹部分岐再建術を伴ったステントグラフトの治療成績. 第117回日本外科学会定期学術集会; 20170427; 横浜.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. OPCABにおいてITA-LADを基本とすればその他のグラフト選択は長期成績に影響を及ぼさない. 第117回日本外科学会定期学術集会; 20170429; 横浜.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 山本晃裕, 佐々木理, 横山 斉. 漏斗胸, 側弯を伴う Marfan 症候群に発症した DeBakey II 型急性大動脈解離に対し基部置換術および胸郭形成術を行った一期的根治術の1例. 第73回福島循環器談話会; 20170527; 郡山.

佐々木理, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 石田圭一, 横山 斉. Shaggy Aorta を伴う胸部嚢状瘤に対して, 一時的腹部分岐動脈遮断を用いた TEVER の1例. 第173回東北外科集談会; 20170603; 仙台.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 横山 斉. 極型ファロー四徴症を合併した超低出生体重児に対する体肺動脈短絡手術〜クリップおよびバルーンによる肺血流調節を行った1例〜. 第173回東北外科集談会; 20170603; 仙台.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 山本晃裕, 佐々木理, 横山 斉. 準緊急的大動脈基部置換術, 胸郭形成術にて救命しえた漏斗胸, 呼吸不全を伴う Marfan 症候群の1手術例. 第173回東北外科集談会; 20170603; 仙台.

瀬戸夕輝, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 山本晃裕, 横山 斉, 片田芳明. 慢性B型大動脈解離に対するTEVER後のType1aエンドリークに対して, 偽腔からのコイル塞栓術を施行した一例. 第164回日本循環器学会東北地方会; 20170610; 盛岡.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 深部静脈血栓症肺塞栓症に対する発生, 予防について—2016年までの報告—. 第37回日本静脈学会総会; 20170615; 徳島.

佐藤善之. 僧帽弁弁輪縮術を再考する. 第6回東北心臓血管セミナー; 20170617; 仙台.

若松大樹, 佐戸川弘之, 黒澤博之, 横山 斉, 桃井伸緒, 青柳良倫, 遠藤起生, 林真理子. Posterior TGA に対する大動脈スイッチ手術の4例. 第53回日本小児循環器学会総会学術集会; 20170707; 浜松.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 桃井伸緒, 青柳良倫, 遠藤起生, 林真理子. 肺血流制限を伴う体肺動脈短絡手術を行い救命できた極型ファロー四徴症合併超低出生体重児の一例. 第53回日本小児循環器学会総会学術集会; 20170707; 静岡.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 石田圭一, 佐々木理, 横山 斉. 慢性期スタンフォードB型大動脈解離に対するステントグラフト治療の妥当性 降圧管理による長期成績との比較検討. 第23回日本血管内治療学会学術総会; 20170728; 奈良.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 山本晃裕, 松本 理, 横山 斉. 虚血を呈したSMA解離を伴う急性B型大動脈解離に対して緊急ステント留置が奏功した一例. 第174回東北外科集談会; 20170909; 盛岡.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 石田圭一, 松本 理, 横山 斉. 乳児特発性僧帽弁腱索断裂に対してloop in loop technique を用いた腱索再建を施行した1例. 第174回東北外科集談会; 20170909; 盛岡.

松本 理, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 石田圭一, 横山 斉. 心室中隔欠損症, 部分肺静脈還流異常症, 僧帽弁閉鎖不全症に対する1手術例. 第174回東北外科集談会; 20170909; 盛岡.

藤宮 剛, 高野真澄, 五十嵐崇, 高瀬信弥, 横山 斉. 重症大動脈弁狭窄症における術後収縮能改善の予測: global longitude strain 改善と術後MRI 遅延造影との関連. 日本超音波医学第54回東北地方学術集会; 20170910; 福島.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 石田圭一, 佐々木理, 横山 斉. 非複雑型慢性期スタンフォード B 型大動脈解離に対するステントグラフト治療の妥当性 降圧管理による長期成績との比較検討. 第 70 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20170929; 札幌.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 横山 斉, 桃井伸緒, 青柳良倫, 遠藤起生, 林真理子. 乳児特発性僧帽弁腱索断裂に対して Loop-in-Loop technique を用いた腱索再建を施行した 1 例. 第 21 回福島県小児循環器研究会; 20170930; 福島.

藤宮 剛. 外科の観点から～トルバプタンの使用法～. 若手医師のサムスカを考える会; 20171020; 郡山.

松本 理, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝. Type V エンドリークによる腹部第動脈瘤破裂治療後に腸腰筋膿症によるステントグラフト感染が疑われた一例. 第 58 回日本脈管学総会; 20171020; 名古屋.

【シンポジウム】

佐戸川弘之, 八巻 隆, 岩田博英, 坂田雅宏, 菅野範英, 西武俊哉, 孟 真, 山田典一. 本邦における一次性下肢静脈瘤治療の現状—静脈学会サーベイの XVII の分析—. 第 60 回日本形成外科学会総会学術集会; 20170414; 大阪.

瀬戸夕輝, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 山本晃裕, 高野智弘, 新城宏治, 横山 斉. 当院の胸腹部大動脈瘤治療戦略における術後対麻痺の検討. 第 45 回日本血管外科学会学術総会; 20170420; 広島.

佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 山本晃裕, 高野智弘, 横山 斉. 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の長期遠隔成績. 第 37 回日本静脈学会総会; 20170615; 徳島.

若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 横山 斉. 急性下肢深部静脈血栓症に対する治療の変遷と成績. 第 37 回日本静脈学会総会; 20170616; 徳島.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 石田圭一, 佐々木理, 横山 斉. OPCAB において ITA-LAD を基本とすれば他のグラフト選択は長期成績に影響を及ぼさない. 第 22 回日本冠動脈外科学会学術大会; 20170713; 大阪.

【特別講演】

横山 斉. OPCAB の早期・遠隔期成績向上における β 遮断薬の役割. β 1 Blocker innovation forum 2017; 20170131; 東京.

横山 斉. off the job training 導入の意義. 第 47 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20170227; 東京.

横山 斉. OPCAB の safety net: β 遮断薬をどう使いこなすか? 第 47 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20170228; 東京.

佐戸川弘之. 臨床における深部静脈血栓症肺血栓塞栓症の予防診断対処法について. VTE 対策セミナー; 20170719; 白河.

横山 斉. 初めての OPCAB を成功に導く幾つかの視点. 第 7 回広島 CV セミナー; 20170902; 広島.

横山 斉. OPCAB の safety net: β 遮断薬をどう使いこなすか? 札幌胸部外科セミナー; 20170909; 札幌.

佐戸川弘之. VTE～特に DVT の診断と DOAC 治療～. 第 22 回医療連携五病院臨床研究会; 20170916; 松本.

佐戸川弘之. DVT の診断と治療 静脈エコーから DOAC 治療へ. 真室川町 DOAC フォーラム; 20171024; 山形.

佐戸川弘之. 深部静脈血栓症の診断 エコー検査から血管内イメージングまで. 第 31 回日本心臓血管内視鏡学会; 20171024; 郡山.

佐戸川弘之. VTE の診断と治療, そして予防まで. 足といのちを救う会～No Legs, No Life～; 20171115; 郡山.

若松大樹. 総括講演 心臓血管外科の up to date. 第 222 回県北循環器疾患研究会; 20171116; 郡山.

〔その他〕

横山 斉. Closing Remarks. いわき市循環器疾患セミナー; 20170922; いわき.

横山 斉. Discussant Surgical Technique Session (Adult Cardiac 2). 第 70 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20170928; 札幌.

外科研修支援担当

論 文

〔原 著〕

Shimura T, Shibata M, Gonda K, Kofunato Y, Okada R, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Kono K, Marubashi S. Significance of Circulating Galectin-3 in Patients with Pancreatobiliary Cancer. *Anticancer Research*. 201709; 37(9):4979-4986.

Sato N, Haga J, Anazawa T, Kenjo A, Kimura T, Wada I, Mori T, Marubashi S, Gotoh M. Ex vivo Pretreatment of Islets with Mitomycin C: Reduction in Immunogenic Potential of Islets by Suppressing Secretion of Multiple Chemotactic Factors. *Cell Transplantation*. 201708; 26(8):1392-1404.